



小さい花が集まっている様子

2019. 4. 3 (五色台ビジターセンターしぜんさんさくろ自然散策路で撮影)

## ミツマタ (三桠・三叉)

(ジンチョウゲ科ミツマタ属)

3~4月ごろ、小さな花が30~50個集まってひとつの花のように咲きます。木にまだ葉がなく、黄色い花が鮮やかで見応えがあります。枝を見ると、3本に分かれていることから、「ミツマタ」と名づけられました。

昔は三枝 (サキクサ) とも呼ばれていたようです。

まんようかじん 万葉歌人、かきのもとのひとまる 柿本人麻呂はミツマタの花で、

春されば ます三枝の 幸くあれば 後にも逢はむ な恋ひそ吾妹

まんようしゅう 『万葉集』 かん 10巻-1895番

### 〔意味〕

春になるとまず咲くさきくさ。その言葉のように幸せで無事であったら必ずまた会えるでしょう。そんなに恋しく思わないでください、愛しい人よ。

という歌を詠んでいます。